

2023年11月14日

和歌山大学 日本学教育研究センター(CJS) 主催
世界銀行・国際協力機構関西センター(JICA 関西) 共催
イオンモール和歌山 協力

写真展「アフリカの人々と場所」の開催

外務省「アフリカ開発会議(TICAD)」30周年記念公式サイドイベント

和歌山大学日本学教育研究センター(CJS)は、2023年11月25日(土)～12月3日(日)の期間、世界銀行(東京事務所:東京都千代田区)、JICA(関西センター:兵庫県神戸市)と共催で、写真展「アフリカの人々と場所」を、イオンモール和歌山にて開催いたします。

私達にとってはまだ遠いアフリカの地。しかし、広大なアフリカは、2050年には人口の半数が25歳未満となる、世界で最も若い大陸です。この人材がアフリカの希望といえるかもしれません。本学としても、アフリカへの関心を高め、教育・研究面における交流拡大に向けてその機運を高めると同時に、広く和歌山の方々がアフリカへの興味・関心をもつ機会となるべく、イオンモール和歌山のご協力を得て開催します。なお、開催期間中は、世界銀行職員と対話した本学学生がボランティアで参加します。

開催期間 : 2023年11月25日(土)～12月3日(日) 10時～18時
場所 : イオンモール和歌山 2階 イオンスタイル前(無料)

<展示内容>

「世界銀行」

世界銀行職員であるドルテ・ヴェルナーの撮影した11作品で構成される本展から、アフリカの多面性の一端、そしてその潜在能力を感じていただければ幸いです。今回の展示作品は、アフリカが解決しなくてはならない課題の一端を現していますが、より重要なのは、アフリカの持つ機会と未来への希望をも映しているということです。

「JICA」

JICAは、日本政府の開発途上国支援(政府開発援助)を実施する機関です。本展示では、JICAのアフリカにおける支援活動を通して得られた現地の写真・映像を展示します。

JICAでは、日本から各分野の専門家・ボランティアの派遣や、途上国からの農業、教育、保健医療などの研修員受け入れなどを通じて、途上国の経済・社会発展を支援するとともに「信頼で世界をつなぐ」というビジョンのもと、日本と途上国の相互理解・友好親善に努めています。また、JICA海外協力隊は、JICAが派遣している途上国の国づくりに貢献するため、現地の人々と共に生活し、同じ目線で現地の課題解決に貢献する活動を行っています。和歌山県からは、現在14名の方々が世界で活躍されています。この中には現在アフリカで活動している和歌山大学出身者も含まれます。

【TICAD 30周年記念 公式サイドイベント】

https://www.mofa.go.jp/mofaj/af/af2/page22_004110.html

TICAD（アフリカ開発会議）は、アフリカの開発をテーマとする国際会議で、1993年以降、日本政府が主導し、国連、国連開発計画（UNDP）、世界銀行、アフリカ連合委員会（AUC）と共同で開催しています。TICADが1993年に立ち上げられ、本2023年が30年になることを記念し、“アフリカの経済社会の発展・魅力発信又は平和構築への寄与を目的とした事業”として、本イベントはTICAD 30周年記念公式サイドイベントに認定されています。

問い合わせ先:

国立大学法人和歌山大学

国際イニシアティブ基幹日本学教育センター

TEL:073-457-7524 FAX:073-457-7886

E-mail: cjs@ml.wakayama-u.ac.jp